

理工学研究科 システム工学専攻（修士課程）

海洋DXコース 2027年4月開設

マリンインフォマティクスで、海洋の未来を拓く。



★本プロジェクトは静岡市・静岡県が主体となり推進する「駿河湾・海洋DX先端拠点化計画（内閣府 地方大学・地域産業創生交付金事業）」の取組として実施するものです

静岡理工科大学 大学院新コースについて

令和9年(2027年4月)に静岡理工科大学大学院理工学研究科(袋井キャンパス、静岡駅前キャンパス)システム工学専攻(修士課程:2年)に新コース「海洋DXコース」を開設します。

研究科	専攻	コース	入学定員
理工学研究科	システム工学専攻	機械工学コース	25名
		電気電子工学コース	
		建築学コース	
		都市デザインコース	
		情報学コース	
		★海洋DXコース	
	材料科学専攻		10名

新コース開設の経緯

産官学が連携し、海洋分野での最先端の研究開発、実践力のある人材育成、そして、新たな産業の創出を目指す「内閣府 地方大学・地域産業創生交付金事業 駿河湾・海洋DX先端拠点化計画」が令和6年にスタートしました。静岡理工科大学はその中核大学として、静岡大学および東海大学と連携して大学改革事業を進めています。その中で、大学院に新たに海洋DXコースを開設し、マリンインフォマティクス研究を担う人材を育成します。



システム工学専攻海洋DXコースの特徴

社会人学生の受入れ

社会人学生(企業等に在籍しながら学ぶ)を受け入れます。企業の業務等での課題を教員の実践的な指導のもとで学修し、解決へと導きます。授業は、オンデマンド形式や夏季集中講義などを取り入れ、業務への影響や社会人学生の負荷を低減します。

3つのポリシー



静岡理工科大学
学長 木村 雅和

養成する人材像

(学位授与の方針)(ディプロマポリシー)(DP)
システム工学分野における高度な専門知識と技術に加え、その基礎および隣接領域の知識を修得し、技術者・研究者としてもものづくり・ことづくり社会に貢献できる。

海洋DXコースでは、海洋と情報に関する先端的知識と技術を習得し、実践的な技術者・研究者として、海洋に関する複雑な課題に対して、海洋DXを活用した技術開発ができる。

教育課程編成・実施の方針

(カリキュラムポリシー)(CP)
海洋DXコースでは、DXを活用して海洋に関する課題を解決できる高い資質を得るために、データサイエンス、人工知能、マリンインフォマティクスおよび事業構想の実践的な教育・研究指導を行うカリキュラムを編成する。

入学者受入れの方針

(アドミッションポリシー)(AP)
マリンインフォマティクスを学ぶために必要な海洋科学や情報科学の学力を有する者。

カリキュラム(講義受講)

演習、研究等の共通科目に加えて、データサイエンス、AI(人工知能)、マリンインフォマティクス、事業構想の各分野から、合わせて30単位を学修します。授業は、本学の教員その他、静岡大学、東海大学、事業構想大学院大学の教員等が担当します。授業は、静岡駅前キャンパスでの開講のほか、オンデマンド授業なども取り入れます。

大学院理工学研究科システム工学コース海洋DXカリキュラム(抜粋)

コース	分野	科目名	単位数	修了要件
海洋DXコース	データサイエンス	並列コンピュータシステム	2	14単位以上 ※2
		データ工学	2	
	AI(人工知能)	人工知能論	2	
		インタラクションとAI	2	
	マリンインフォマティクス	マリンインフォマティクス特論I	2	
		マリンインフォマティクス特論II	2	
		環境創生学特論	2	
	事業構想 ※1	事業構想特論I	2	
		事業構想特論II	2	
共通科目	総合科目群	アカデミックライティング	2	4単位以上
		環境学	2	
		理工学特別講義	1	
	経営科目群	安全設計論	2	
		経営戦略論	2	
	演習科目	理工学演習1～4	各1単位	4単位
	研究科目	理工学研究1～4	各2単位	8単位

※1 単なるアイデアや計画に留まらず、未来を洞察し、社会の課題を解決して、新たな価値を創造するための知的なフレームワーク ※2 他コース、他専攻の単位を合算可能

学修／研究分野(マリンインフォマティクス)

海洋(マリン)と情報学(インフォマティクス)を融合した新しい科学技術について、学修／研究します。指導教員は、各専門分野の10名の教員を予定しています。

高橋桂子教授



地球環境工学/地球人間圏科学/
大気海洋物理工学/流体工学/計
算科学/知能情報科学

https://researchmap.jp/Parma-12_Link

峯田克彦教授



マリンインフォマティクス/
環境ゲノム/集団ゲノム/メタゲ
ノム/分子進化/情報生物学/海
洋科学

https://researchmap.jp/katsu_mineta

中澤博志教授



液化化被害/液化化対策/津波対
策/複合災害/土質力学/地盤工
学/地盤防災工学/動土質力学

<https://researchmap.jp/nakazawa-geotech>

西田孝弘教授



社会インフラ材料学/建設材料/
維持管理/非破壊試験

https://www.sist.ac.jp/architecture_civilengineering/civilengineering/laboratory/cv-Nishida/

川人祥二特任教授



海洋イメージングデバイス・シ
ステム/半導体デバイス/イメー
ジセンサ/光飛行時間計測/3次
元画像計測/水中イメージング

<http://www.idl.rie.shizuoka.ac.jp/index.html>

Mars Kamel准教授



高性能イメージセンサ/Time-
of-Flightカメラ/水中ドローン/
センサインターフェース/ブ
ルーカーボンイメージング/半
導体応用

<https://researchmap.jp/mars-kamel>

居波智也准教授



駿河湾の新たな健全性指標の創
出/物質循環/リモートセンシ
ング/海岸工学

https://www.sist.ac.jp/architecture_civilengineering/civilengineering/laboratory/cv-inami/

山岸祐己准教授



TinyML(AIの軽量化)/異常検知/
時系列分析/データマーケティング/統計学/アルゴリズム/数
理モデル

https://researchmap.jp/yukiya_magishi

四宮友貴准教授



画像処理/機械学習・パターン
認識/ソフトコンピューティ
ング

<https://www.sist.ac.jp/informatics/computer/laboratory/shinomiya/>

河野郁也准教授



科学技術計算の並列計算による
高速化/高性能計算/大規模デー
タ高速処理/GPU/FPGA

<https://www.sist.ac.jp/informatics/computer/laboratory/ko-no/>

入試情報

社会人特別入試制度

社会人特別入試制度により、入試は書類審査と面接試験で行います。

出願期間・試験日・合否通知日

入試種別	出願期間	試験日	合否通知日
一般前期	2026年7月1日(水)～ 7月22日(水)	8月21日(金)	9月2日(水)
一般後期	2027年1月12日(火)～ 1月28日(木)	2月16日(火)	3月3日(水)

社会人特別入試での入学までの流れ

出願前相談(研究テーマと指導教員の調整) → 出願 → 入試(面接) → 入学手続き → 入学



授業料等費用

初年度納付金は、入学金150,000円、前期授業料300,000円、後期授業料300,000円の計750,000円と国立大学レベルです。

◇本学出身者

納付金の種類	前期	後期
入学金	-----	-----
授業料	300,000	300,000
計	300,000	300,000

◇他大学出身者

納付金の種類	前期	後期
入学金	150,000	-----
授業料	300,000	300,000
計	450,000	300,000

2年次の納付金は、1年次納付金(入学金を除く)と同額です。

※海洋DXコースの開設に向け、文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)の認定申請を行います。認定を受けると大学院授業料の50%の厚生労働省専門実践教育訓練給付金を受けることができます。

問い合わせ先

静岡理科大学
駿河湾・海洋DX先端拠点化計画推進室
〒424-0821
静岡市清水区相生町6番17号
静岡市清水産業・情報プラザ 6階
清水事務所・研究室 kaiyodx-ob@sist.ac.jp

袋井キャンパス

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

静岡駅前キャンパス

〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20



静岡理科大学